

知事・副知事への報告の概要

報告日	令和5年3月20日月曜日（副知事） 令和5年3月22日水曜日（知事）
報告者	環境政策課（環境管理運営事務局）
報告内容	滋賀県庁環境マネジメントシステム（EMS）の実施状況
<p>○ 知事、副知事に各取組の令和3年度の実績および令和4年度の進捗状況の概要について報告した。</p> <p>（環境経営会議の開催については、業務見直しにより、平成29年度から知事・副知事への報告および、その報告結果の庁内共有をもって開催に代えることとしている。）</p> <p>1 環境方針等の改定</p> <p>「CO₂ネットゼロに向けた県庁率先行動計画（CO₂ネットゼロ・オフィス滋賀）」の策定および「CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」の施行を踏まえ、環境方針および同方針に基づく目的・目標等を改定した。（令和4年4月1日）</p> <p>2 基本方針に基づく各取組の進捗状況</p> <p>①基本方針1 総合的な環境保全施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none">「目標値」は、「分野別計画の進捗状況の評価を活用するとともに、参考指標を確認するなどして、進行管理を行う。」としている。「令和3年度の実績」としては、環境の各分野の現況や課題、今後の取組を点検・評価し、結果を環境審議会環境企画部会に報告するとともに、滋賀の環境（環境白書）へ掲載し県民や関係機関と共有した。 <p>②基本方針2 事業活動における積極的な環境配慮の実施</p> <p>（1）環境負荷を低減した公共事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none">「目標値」は、「環境配慮指針を活用し、全ての事業で計画、設計、施工の各段階で点検を実施する。」としている。「令和3年度の実績」としては、「公共事業における環境配慮指針」に基づき、環境負荷の低減に係る対策を実施するとともに、各段階で環境への配慮事項を点検した。また、自然公園区域内における業務等298件を抽出し、点検状況を確認したところ、全て適切に実施されていた。「令和4年度の実績見込み」も、令和3年度と同様に取り組んでおり、年度末に発注機関における点検状況を確認する予定である。	

(2) 公共事業における生物環境への配慮の実施

- ・ 「目標値」は、「特に専門性の高い生物環境への配慮を図るため、学識者から指導・助言を求め事業執行に反映する。」としている。
- ・ 「令和3年度の実績」としては、自然公園区域内における事業など14事業を対象として、アドバイザーから「貴重植物の移植」や「希少鳥類の生息実態調査」等の環境配慮事項を指導いただき、事業に反映した。
- ・ 「令和4年度の実績見込み」としては、令和3年度と同様、事業ごとに環境配慮事項についての指導事項を事業に反映するとともに、全体会議において、指導・助言内容や事業への反映状況について審議、情報共有を行う予定である。

(3) 建設廃棄物の再生利用率の向上

- ・ 「目標値」は、コンクリート塊などの再資源化率（国への報告値）となっている。
- ・ 「令和2年度の実績」および「令和3年度の実績」としては、それぞれ目標値を超える再資源化率となった。

③基本方針3 環境に配慮した庁舎・施設管理や事務活動の推進

(1) グリーン購入の推進

- ・ 「目標値」として、「物品」「設備」「公共工事」「役務」について、それぞれ削減率等を定めている。
- ・ 「物品」の購入では、印刷物の仕様を満たすためにグリーン購入できないもの（写真の鮮明さが要求されるもの等）を除き、100%に近い導入実績となった。
- ・ 「設備」については、新規調達実績がなく、「公共工事」「役務」についても、概ね目標を達成している。

(2) 省エネルギー、省資源の推進

- ・ 「目標値」として、「温室効果ガス」の削減率を令和12年度で50%（平成26年度比）としている。
- ・ 「令和3年度の実績」としては、コロナ禍での施設利用の回復等の要因により令和2年度より温室効果ガスの排出量が増加した。
- ・ 「令和4年度の実績」は、令和5年度に確定予定となっている。

④基本方針4 環境関連法令等の確実な遵守および環境汚染の未然防止

- ・ 「目標値」は、「適切な環境管理マニュアルの作成率 100%」および「適切な環境汚染事故対応マニュアルの作成率 100%」としている。
- ・ 令和3年度、令和4年度ともに、目標とする100%を達成している。

⑤基本方針5 職員の環境保全行動の推進

(1) 職員の環境保全行動の実施

- ・ 「目標値」は、「職員の環境保全行動実施率 100%」としている。
- ・ 「令和3年度の実績」は93%、「令和4年度の実績」は92%であり、高い値で横ばいとなっている。

(2) 各所属におけるプラスチックごみ削減行動の実施

- ・ 令和3年度の各所属におけるプラスチックごみ削減行動の実施率は99%であり、令和4年度は100%と全ての所属においてプラスチック製品を「使用しない」「切り替える」「長期間使用する」のいずれかの取組を実施していることを把握した。
- ・ 引き続き、各所属における取組の内容を充実させていく必要がある。

3 知事、副知事のコメント

- 知事 : 令和3年度に増加となった温室効果ガス排出量も含めて、令和4年度の成果に期待する。
- 副知事 : コメントなし